

第4回 定例教育委員会議事録		日時 : 平成30年4月25日(水)	
		場所 : 3階中会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 11時30分 閉会	
出席委員	教育長 森 和 範 永 野 治 川 原 惟 昭 長 野 則 夫 久保田 悦 子	議場に出席した者の氏名	総務課長 万 膳 正 見 学校教育課長 高 崎 良 一 社会教育課長 中 村 政 仁 スポーツ推進課長 田 中 健 一 給食センター所長 丸 目 良 平 書記 浅 山 典 久 書記 新 納 誠 朗
	議事日程		別紙のとおり
審 議 状 況			
<p>(森教育長) それでは、ただいまから平成30年第4回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(浅山係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(森教育長) 「平成30年第3回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(浅山係長) 平成30年第3回定例教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告)</p> <p>(森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(森教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(森教育長) 平成30年第3回定例教育委員会議事録及びについては、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。 教育長の報告については、お手元の3月26日から4月24日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。</p> <p>(別紙「諸般の報告」により日を追って報告)</p> <p>(森教育長) 教育委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、永野委員からよろしいでしょうか。</p>			

(永野委員)

はい、まず、4月6日入学式から報告しますが、私は、小学校は大口小、中学校は菱刈中へ入学式に行きました。

まず、大口小なんですけど、今も教育長がおっしゃったように人数が非常に多くて結構なんですけども、一番感じたのは、今年の新1年生は本当に姿勢がすごく良くてびっくりしました。非常に幼児教育の段階ですごく指導がなされているのではないかなものすごく感じました例年になくですね、足のぶらつきをしている子とかですね、落ち着かない子というのはほとんどいなかったみたいです。私が見る限りでは、すごく姿勢が良くてちゃんと聞いていましたので、入学式は整然と行われて、静寂の中に非常にいい感じで進みました。昨年か、一昨年かも行ったんですけど、歓迎のことばが一昨년이ちょうど非常に元気のいい子だったんですけど、今年の子は、元気が良くてではなくて、普通の淡々としたような感じだったんです。「いさっピー」という小学校のキャラクターがいるんですけど、その歓迎も毎年6年生か5年生が中に入ってやっていると思いますが、今年はちょっとおとなしかったなという感じでした。1昨年はものすごくうけて、すごくどよめきがあったりですね、新1年生の笑顔があったんですけど、なんか今年見ていると不思議な顔をしていましてね。そのへんのアピールがちょっと6年生が恥ずかしかったのかなと感じがしましたが、新1年生はすごく良かったと思います。それと回りもですね先生方も非常に動きが良くて整然として良かったと思います。今年は雨が降ったので、入学式の入口が変則的だったんですけども、雨の時の対応はなかったんだというのが感じてですね、おかしくはないんですけど、いつも通り横から入ってきてグッと回って行きますので、それ辺の入場のセレモニーの入りがですね、他の所とちょっと違う感じでしたんですね。それでも先生達がいしっかりとちゃんとした入学式だったと思います。

中学校です。菱刈中もまあ、例年のごとくいつも注目注視しているんですけど、今年っていうか、年々良くなってきているという、年々ですね。今年は特に新入生は良かったですね。非常に落ち着いて、姿勢も良かったです。在校生も昨年、一昨年だったら4・5人ぐらいは、こう何というか動く子とか、だらけた子がいましたけど、今年はいなかったですね。ちゃんとしていました。新入生も良かったし、歓迎のことばなんかも非常にしっかりと、女の子でしたね、山口さんだったかな、あの子はしっかりとしていますから、歓迎のことばも非常にハキハキとしていて、いい式典だったなと思いました。昨年より期待できるかなと非常に感じました。特に新1年生はあのままこういくと、いい学年でそのまま逆に2年・3年生をおびやかすというか、そんなこうちょっと感じましたけどね。上の方に負けない子を作っていけるような、だからこの1年が特に教務主任とか、学年の先生方の頑張り次第では、非常に変わるんじゃないかなと予感がしましたですね。少し中学生にしてはまだおとなしいけど、入学式だからあんなもんかなと思ながらですね。それと昨年からも私言ったんですけど、やっぱり中が大分明るくなってですね、以前も言ったと思うんですけど、2階の暗幕を閉じてましたから暗かったイメージがあったんですけど、昨年からですかね、卒業式もそうでしたけど、明るくなってきたのが非常に良かったかなと、あとはもうちょっと照明を明るくすればいいんですけども、予算の関係で、照明のあれも暗いんですね元々が、だけど大分明るくなってきているのかなと思ったので、その事が全体的に子どもたちにもやっぱり反映されると思いますので、少しずつ良くなっているのを感じました。

あとはですね、私はさわやかあいさつ運動はちょっと用事がありまして行かなかったんです

けど。

それから、この前地区の子ども会がちょっとあった中で、特別じゃないんですけど、来年ですね子ども会の大会が大分であるんですが、そこで勝手にという訳ではないんですけど、鹿児島で歌の発表とですね、司会の担当になりましたので、是非始良・伊佐で本当は県でせんないかなけど、始良・伊佐で名乗りをあげるといって、檄を飛ばしてほとんどそういう方向でやろうかなというところですので、伊佐市も含めてですね、それがアピールにもなるし、きっかけにもなるという意味も込めてですね、始良・伊佐の子ども会の代表というつもりで会の中でもちょっとそういう話をしてきたところでした。それが今非常に子どものためのこの会というのがないんですけども、ないというか完全にですね、それを全国は求めているんですけど、我々はその発表に出たんですけど、それを対抗会にするんじゃないくて、それをその目的はみんなわかっているんだから、それをするには地区としてはどうしているかとか、それを市町村ではどういうふうを受け止めてそれにより近づこうとしているかという取組みも含めた発表はできんかなという私は考えていますので、そうしないと現実離れしたようなことをやってもだめだから、現実的にそういうところで苦しんでいるそういうところが課題だということをや投げつけて全国大会どうですかという感じにしたほうがいいんじゃないかと私なりの考え方を話をしてですねきたところでした。それが上手くいったら全国まで行けそうな気がするので、全国にはそういうものがないものですから、それを踏まえてですね今年1年は社会教育の方で子ども会の方からアピールできたかなというちょっと思って感想を言ったところでした。この前のこれは4月の19日にちょっと定例会があったのでそういう話がでたところでした。

あとは、カヌーの落成式典は非常にいい艇庫ができてアピールできるなど、私は今できたばかりですからあれですけど、提案じゃないんですけど、カヌー艇庫じゃなくて、なんかですよやっぱりあるじゃないですか、名前を公募して親しみのある名前のあるあんなのをさしてもどうかとちょっと思ったりしました。固いなあと思いながらですね、この前は落成式典でしたのでそうでしたけど、なんか伊佐をアピールして全国にいくかもしれないわけですから、もうちょっと親しみのある館の名前を付けてもいいのかなとちょっと感じましたですね。もっと子どもたちが使うところだから馴染みあるものにしてもどうかと、まだ今からでしょうけどそれを提案したかったんですけど。

はい、以上です。

(教育長)

菱刈中の照明については、今年度工事をする予定で進めています。

(永野委員)

ああ、そうですか。それは良かった。

(教育長)

国の予算が付かなくてどうしようかと思っていたら、私の思いを総務課がとってくれて、先日市長部局財政と話し合ってくれました。

(永野委員)

国の予算かなんかとられたんですか。

(教育長)

それを取る予定だったのが付かなくてですね、でも市単独でやっていこうというようなことになっています。

(永野委員)

多分あれは水銀灯だから、水銀灯だったら今まではですね容量が足らずに配線も太くせんとできなかったはずなんですよ、だからお金が高くついたんじゃないかと思うんだけど、もう今LEDなんかがあるから多分ですねあの電源でクリアできると思うんですよ。電球だけで、今までは多分あれが中々進まなかったのはね、ものすごくくいますからね、電線から全部ケーブルのそこから変わってくるからね、ちょっと工事をするには大変だったかなと思うけど、大変だったと思いますよ。電球だけで済むような気がしますがね。

(教育長)

今年のうちといたしますか、早め早めにつけていきたいと思います。

(永野委員)

そうですね。まあとにかく菱刈中は明るくしてください。とにかくいろんなところで。

(教育長)

川野委員お願いします。

(川野委員)

はい。私も入学式は、針持小と大口中央中学校に出席しました。針持小学校なんか久しぶりの入学式の参加だったんですけども、前は1人の入学生の時に行きまして、今回は少ないですけども4名の児童が入学する入学式でした。1人の子どもがなんか体調を崩して欠席で3名で入学式でした。在校生が全員、少人数ですから全員参加しての新2年生といいますか、やっぱりこう大変だなと式典に小学2年生から参加するのは大変だなというのを感じましたけど、ちゃんと先生からしつけられて、ちゃんといい時間までもっていたんじゃないかと感じました。人数は少ないんですけども、校歌を歌う時の元気は、大口中央中の声よりかも大きく響いたのじゃないかという感じがしました。それと新保護者の紹介も前に出させていただいて紹介がありました。一言ずつ言葉まで言ってもらって、まあいいなあと、入学式でそこまで紹介されたのは初めて見ました。中にはやっぱりおじいちゃんおばあちゃん出席されているところもあったし、いい光景といいますか、「うちの子が新しく入りました在校生の皆さんお願いします。」という言葉がありましたので、良かったんじゃないかと思います。それと、やはり針持小学校区コミュニティも活発なんですけども、色んなサロン活動も活発で新聞紙上等でもあります。だからそういう関係か知りませんが、地域の方の出席者が非常にびっくりするぐらい後ろの方に参加しておられて、やはり地域の子どもたちは宝だと思っての参加だなと思います。高齢者の方が多いんですけども、やっぱり人数はすごく多かったです。びっくりしました。

それと、菱刈中学校、やはり4名の新入学の入学式から、120何名の入学式にポンとなりましたから、やはり花があるなど華やかだなどという、入学式の花、晴れやかさが華やかさが伝わってきた入学式だったなど、それにやっぱりブラスバンドの演奏があつての入場で、ふさわしいといいますか、新入生の歓迎ですね、ふさわしい新入学式だったと思いました。

その前に着任式に行った時に、代表であいさつされた菱刈中の新しい校長先生、歓迎会の時もあいさつされましたけども、2回とも本当にこう馬力といいますか、校長先生の馬力が伝わってくるあいさつでした。声もちろん張があつたんですけども、聞いている我々も気持ちが良かったといいますか、一生懸命やるよというのが伝わってくるあいさつで、非常にいい声・いいあいさつだったというのが印象的でした。

それから、さわやかあいさつ運動大口中央中に行きましたけども、4年目ですかね入ったの

が、まだ生徒達、自分から進んでする進んであいさつをするところまではまだまだかなと、もう一歩かなという感じをやっぱり受けました。スクールバスでくる生徒はもう団体でボンと降りてきますから、声も大きいんですけども、やはり、校門から上がってくる子どもたちは、なんやろかなという感じで、人数が参加者が声をかけるほうが多いもんですから、びっくりしたような顔、表情で応えてくれましたけど、やはりいつでもどこでも誰にでもというようなところまでは今からまだまだ、あと少しかな、まだ一歩足りないかなという感じは受けました。

次に、カヌー艇庫の落成式にも参加しましたが、やはり来賓のあいさつの中で、昔は湯之尾地区、毎年のような氾濫で困っていた訳ですけども、その川が今はもう恵みの川になっていますというのがあって、ああそうだなやっぱり川内川が活かされているといいますか、自然が活かされているんだというのがちょっと印象に残りました。

はい、以上です。

(教育長)

はい、長野委員お願いします。

(長野委員)

はい、私も小学校の入学式は、平出水小学校に行きました。2名の新入生だったんですけど、男の子1人、女の子1人の入学生で、とても可愛い入学式が行われました。平出水小学校に行く前に、ものすごく芝桜が綺麗なところがあって、ちょうど校長室でその話をしたら、校長先生がカメラで写真撮って引き伸ばして飾っておられて、ちょうどその時コミュニティの会長さんだと思うんですけど、会長さんたちが何年か前から芝桜を作っていると、ちょっとこうポッコリ山になったところがあったもんですから、「これ何ですかと、何で膨らんでいるんですか。」と言ったら、「鳥神山をイメージして作ったんだ。」とか、ちょうど芝桜のポッコリと後ろの鳥神山がちょうど綺麗に写真にも写って、綺麗な写真だったなあと思いました。体育館の中も花がものすごく綺麗で、校務員のいつもリーゼントが決まっているあの方が一生懸命、なんかごつい顔をしているけどああいうところはものすごく気が利いて花も大切に植えているなあものすごく関心するしだいでございました。一番印象に残ったのは、ゆるキャラのトガメンですか、トガメンもちゃんと入学式に来て、ちゃんと背広を着ててですね、それが来賓席に座っていたのがちょっとおかしくて、「トガメンも来てるんですか。」と森山議員に聞いたら、「はい、毎年来てますよ。」と、「終わった後、みんなで一緒に写真を撮ります。」非常に地域の方々も結構来られていて、いい小学校だなあと感じました。

中学校は、菱刈中学校だったんですけど、今先程永野さんが言われたとおりなんですけど、本当校長先生の気迫のあるパワーというかもものすごく感じたのもそうなんですけど、また新しく来られた教員の先生で1年の学年主任になられた何先生でしたっけ。

(教育長)

山口先生です。

(長野委員)

山口先生。山口先生もスキンヘッドで、ああもう菱中はもうピシヤツとなるなあという感じはものすごく受けました。今後が楽しみです。毎年菱中なんですけど、段々毎年毎年吹奏楽が校歌の時も、2・3年前はなんか腑抜けたこういう感じだったんですけど、ところどころにフルートが入ったり、サクソミみたいなやつが入ったりとかして、非常にあのやっぱりプロから教えてもらっている効果がものすごく出てきているんじゃないかなとつくづく感じました。生

徒は、1年生は緊張している姿だったんですけど、2年生3年生でまだマスクを着用している子どもたちがちょっと気になったんですけど、ちょうど花粉症の季節もあったからかなあとはいながら見ていました。

あと、カヌー艇庫の落成式もちょっともうギリギリで、ちょうど親父の関係であったんですけど、ギリギリで行きました。あそこの管理を栢木君という方がされるようになったみたいですが、この間ちょっと栢木君と話をして、「長野さん今度隣に艇庫が出来たんですけど、もしかして子どもたちのたまり場になるおそれもあるかもしれないので、その時にはすぐ電話してください。」と、「すぐ駆けつけますから。」とか、「わかりました。」とかいう感じで、栢木君の家が川の向こう側にありますから、はい。なんか交流館が出来た時もやっぱりトイレに子どもたちが入ってたまり場になったとかいうケースもあったことが、なんかお話を聞いたみたいなので、また注意しながら見ていこうかなと思いました。

以上です。

(教育長)

はい。久保田委員お願いします。

(久保田委員)

はい。小・中学校の入学式はちょっと息子の入学式と重なったので、色々と皆さんに助けていただいてご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

4日の着任式だったんですが、着任者のそれぞれあいさつをされる時に、今回初めて最初の先生が後ろを向いてあいさつをされたので、4人目のタイミングで教育長先生が「こちらを向いてあいさつをしてください。」というのをおっしゃったんですけど、事前にどういふふうなあいさつをそういう打合せみたいなのはなかったのかなあとあって、ちょっと初めてだったので、やっぱり最初の人かそうすると次の人もしてしまうのは仕方がないのかなあとあって、何かこう事前に最初の人には「こうするんですよ。」というのを打合せがあったらよかったなあとあつたところでした。

あとは、13日のあいさつ運動は菱刈中学校に行きました。すごく久しぶりだったんですけど、ほぼ1年ぶりですね、子どもたちが表情がすごくこう明るくなって、顔をちゃんと上げて校門を来る子が多くなつたなあと、色んなところでこう地域の人たちに見られているという意識も高くなってきているし、先生方も校門に立たれる人がちょっと増えてきて、これからまた期待できる学校になるんじゃないかあとあつて、楽しみにしているところです。

はい。以上です。

(教育長)

はい。着任式のあいさつ、どこ向いてあいさつするんだろうかと思つてですね。あれはあれとしても指導が大切だつたと反省しております。来年度から気をつけていきたいと思つます。

ありがとうございました。

では、教育長及び委員の報告については以上でよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思つます。

今回は報告事項が 2 件、付議事件が 1 件ございます。

まず、報告第 7 号を議題とします。このことについて、事務局に説明をお願いします。

(万膳課長)

はい。報告第 7 号「伊佐市教育委員会事務局の課長等の任免について」を説明いたします。

3 ページになります。

本件につきましては、「伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第 24 条第 1 項」の規定により臨時代理を行い、同条第 2 項に基づき報告するものでございます。真ん中から下の方に表がでございます。平成 30 年 3 月 31 日付で 2 人の課長等が退任し、平成 30 年 4 月 1 日付けの人事異動に伴い、3 名の課長等を任命したものでございます。

以上でございます。

(教育長)

はい。ただいま、事務局の方から説明がありましたが、何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(教育長)

質問ご意見等ないようですので、報告第 7 号は承認ということよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

それでは、第 7 号は承認されました。

次に、報告第 8 号を議題とします。このことについて、事務局より説明をお願いいたします。

(万膳課長)

はい。報告第 8 号「伊佐市奨学生選考委員の委嘱について」を説明いたします。

4 ページになります。

本件につきましては、一部の委員の異動等により、後任を 4 月 1 日付けで変更したもので「伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第 24 条第 1 項」の規定により臨時代理を行い、同条第 2 項に基づき報告するものでございます。

今回は、委員 10 人のうち、1 人が変更となります。具体的には、大口明光学園校長を退任されました「重水康夫校長」から、就任をされました「宮原景信校長」へ、残任期間をお願いするものでございます。任期は、平成 31 年 3 月 31 日までとなります。

以上でございます。

(教育長)

はい、ただいま事務局の説明がありましたが、大口明光学園の校長が変わったということで、後任が前任者の残任期間をお願いするというものでございましたが、何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(教育長)

ご質問ご意見ないようですので、報告第 8 号は承認ということになります。

よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

では、次に、議案第 7 号「伊佐市菱刈カヌー競技場艇庫の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(万膳課長)

はい。議案第 7 号「伊佐市菱刈カヌー競技場艇庫の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について」を説明いたします。

資料は 5 ページからになります。

本件につきましては、「伊佐市菱刈カヌー競技場艇庫の設置及び管理に関する条例」の本年 5 月 1 日からの施行に伴い、必要な事項を定める施行規則をご審議いただくものでございます。

開けていただきまして、6 ページになります。

第 2 条で利用の許可申請は利用しようとする 3 日目までに所定の申請書を教育委員会に提出しなければならないと定めております。また、艇庫の模様替えなどを行う場合や、利用者が入場料を徴収する場合も定めてございます。

それから、第 3 条では利用許可証の交付のこと。

それから、第 4 条では利用許可の変更について定めてございます。

第 5 条と次の 6 ページの第 6 条でございますが、使用料につきまして、条例では原則前納ということで前もって払っていただく訳でございますが、例外としまして、後納できる場合、それと免除できる場合ということで、5 条・6 条でお示ししてございます。

7 ページの第 7 条でございますが、ここにつきましては、利用者の遵守しなければならない事項、第 8 条は損壊等の場合の届け出義務、第 9 条は販売行為等の禁止について定めてございます。

附則においては、条例施行に合わせ、規則の施行日を平成 30 年 5 月 1 日ということとしてございます。

8 ページから 10 ページにかけましては、各様式になっております。

以上でございます。

(教育長)

はい、ただいま事務局から説明がありましたが、条例が先の 3 月議会で承認を得て、そして、5 月 1 日供用開始となります。その運用のための規則を今回提案し、審議していただくものでございます。

(教育長)

ちょっと、時間をおきますので、疑問等ございましたらお願いします。

(永野委員)

ちょっと聞きたいんですが。

(教育長)

はい。

(永野委員)

この関係文で中を見たのでわかったんですが、今 6 条のこれで生徒を対象とする体育行事な

んかで使う場合にですね、トレーニングマシンなんかあるでしょ、あれは、ここになんていうかな、トレーニング室というのを借りるともう自動的に使っているという具合になるんですか。トレーニングマシンは、別々に申請するんですか。もうくっついているという解釈になるわけですか。あのマシン、パドルがこうありましたもんね。

(教育長)

8 ページに申請書がありますが。

(永野委員)

申請書ある。マシンは別だ。

(教育長)

これは一緒にトレーニング室と一緒にしていると解釈。どうですか、課長。

(田中課長)

トレーニング室の機器につきましては、専門のトレーナーといますか、専門者がいないと使用ができないということで、まずございますので、一般の子どもたちの使用はできないということになっています。

(永野委員)

それも聞こうと思ったんですついでに。

(田中課長)

あと、カヌーのパドリングマシン等についても、やはり指導者がついての使用ということになります。

(永野委員)

ついついかなないかなあ。そう思いました。あれは。ひもでしているから、勝手にやると本当な事故等というか、ということは、マシンとトレーニング室というのは、この申請でいくと別々になるわけ、マシンというのは一つあるけど、他にあるでしょ艇庫のパドルマシンは500円。

(田中課長)

マシンは、はい。ここに書いてございます。トレーニング室は、トレーニング室ということだけで。

(永野委員)

中で使っている機械とは別に申請せんないかんということになるわけですよ。

(田中課長)

トレーニング室をもう使う方が限られてくると思います。

(永野委員)

限られてくる。

(田中課長)

はい。ということで、機械の機器のことについては、特にここでは定めてございません。

(永野委員)

そうなんですね。

(教育長)

やっぱり、トレーニング室は機械込みでの使用とみなすということですね。

(田中課長)

そうです。

(教育長)

トレーニング室だけ使用するというのは、できないと。

(田中課長)

はい。

(教育長)

機械も入っているからトレーニング室を使う場合は、指導者がいないと使用許可は出さないということですね。

(田中課長)

そうです。

(永野委員)

トレーニング室というのだけは、200円か。であれでしょ、200円ですよね利用施設。下にパドリングマシンというのが別に1台につき500円ということなんでしょうね。それぞれに器具はあるということではないんですか。だから、トレーニング室は、室料は払った上にマシンは1台につき500円という解釈でいいんですかこれは。

(田中課長)

このカヌーのパドリングマシンは今のところ会議室2階の方に置いてありますので。

(永野委員)

うん、2階にあった。あったなと思って。

(田中課長)

それを使うときには、機器だけの使用。

(永野委員)

1台につきということですかね。

(田中課長)

1台につき、はいそうです。

(永野委員)

でしょうね。

(田中課長)

はいそうです。

(永野委員)

台数書いてあるから。

トレーニング室と、マシンとは別に考えないかんということなんでしょうね。

(教育長)

そうですね。

(永野委員)

他にないがあっただけ。これがあつたよな。

(川原委員)

ですね。

(永野委員)

ウェイトマシンがあつたよな。それは、トレーニング室中に含むという解釈なの。

(田中課長)

そうですね。トレーニング室の中にありまして、固定をしてありますね。

(永野委員)

あるからな。

パドルマシンだけは2階にあったから、あれだけは別にこれでいくと1台500円の使用料をとるということになるわけやな。

(田中課長)

そうです。

(永野委員)

そこあたりを聞いとかんと。

(教育長)

そうですね。

(永野委員)

これ、この前もって見てこれどうなっとかなと思って、聞こうと思ってたんです。

トレーニング室にある、ここにこれ書いてないからですね。

(教育長)

そうですね。

(永野委員)

トレーニング室にあるウェイトマシンとあれがあったもんな。あれですよ、会議室にあるやつだけがパドルマシンという解釈やとやろな。

(田中課長)

そうですね。

(永野委員)

トレーニング室にあるやつは、下にあったよな。

(川原委員)

これは、会議室にあるわけな。

(永野委員)

これは、2階にある。

(川原委員)

こいかな、これは、トレーニング室にある。

(永野委員)

そこあたりを、専門家がいるけどせっかく表ができてから、そこあたりの解釈をちょっと、今これだけを見ると私なんかちょっとわかんないもん。ということでした。おおざっぱになっているから。

(長野委員)

結局は、柙木君がずっとあそこについている訳だから指導者としてもずっともうおられるという訳ですよ。

(田中課長)

そうですね。

(永野委員)

ついついとかんと、多分無理やなと思いましたので、部屋の室料はやっぱりとらんと、勝手に使えというのではなくて、管理人室だけおってじゃなくて、ついついとかんないかんとということでもんね。指導者ですからそういうことになる。これ、元々専門の人だけ借りるとなっているけど、前回のとき聞いた時に、「一般の方も借りれるんですか。」と聞いたら、「借りれる。」と言ったから、それに対する対応はしとかんと管理者側としては、「いや、専門の人しか使えないんですよ。」という訳にはいかんと思いますよね。ちゃんとしとってください。お願いします。

(教育長)

その他に、ないでしょうか。

まず、国体まではある程度こうきちとした形でいけるとと思います。その以降ですね、何か色々出てきたら変更等していかないといけないんじゃないかなと思います。

(永野委員)

それ以降ですね、結局この前にあいさつであったように、国体まではあるけど、その後、川内川流域の活性化も含めたものに使うというようになっていきますから、その時は変わってくるでしょうけど。

(教育長)

そうですね。

(永野委員)

やっぱり、みんなに広くせっかくできたやつだから、使ってやっぱりカヌーの町になって欲しいですからね。

(教育長)

そうですね。

(永野委員)

今のところは、国体に向けての競技力向上でしょうけど、その後が市民みんなで楽しむ、カヌーで楽しむ町、やっぱりそういう構想もあるでしょうからね。是非そういうふうになって欲しいです。

(長野委員)

本当は、北海道のカーリングと一緒に、やっぱり町がこうなんというか「カーリングを盛り上げるんだ。」という感じになっていかないと、やっぱりカヌーも伊佐市全体が盛り上がらないとですよ、そういう声を色々聞くもんですから、「あの隣の建物なんなの？」とかですね。

(教育長)

そうですね。国体までですけど。今、教育委員会が管理していますけども。

(永野委員)

こんなの管理にお金がかかって困るよ。

(教育長)

市長部局への移行も考えられると思っています。

(永野委員)

国体まではしょうがないから教育委員会でも、その後はやっぱりね。市長部局にね。町の活性化でね。そうですね。是非いいですから、色んなものを使って欲しいなと感じがしますよね。

(教育長)

はい。非常にまた、便利な所なんですよ。

(永野委員)

なんか、あれだけで終わらせるのはもったいないという感じがしますよね。

(教育長)

高速からも一番近い場所ですのでね、伊佐は。

(永野委員)

もっともっとう活用できるようにね。親しめるようなこう施設になればいいですよ。そう思います。それは、国体まではとにかく頑張るしかない。

(教育長)

他にご意見ないでしょうか。

では、ご質問ご意見ないようですので、議決に入りたいと思います。

議案第 7 号「伊佐市菱刈カヌー競技場艇庫の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について」賛成の方は挙手をお願いします。

(全員)

はい。

(教育長)

はい、ありがとうございました。賛成多数ですので、議案第 7 号は議決されました。

以上で準備された議事については終わります。

次に、委員から提出された動議の討論等に入りますが、前もって提出された動議はありませんが、何か動議等ございませんでしょうか。

(全員)

はい、ありません。

(教育長)

ないようですので、以上で討論等を終わります。

その他の件に入ります。その他、この場で話し合いたいというようなことございませんでしょうか。

特に、ないようですが、よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

では、ないようですので、これをもちまして平成30年第4回定例教育委員会を閉会します。

(浅山係長)

姿勢を正してください。一同礼。